

教科	外国語	科目	論理・表現 I	開講学期	後期	単位数	3	試験	後期
タイプ	II	レポート数	6	スクーリング必要時数		8	スクーリング実施時数		14

教科書(発行者)	NEW FAVORITE English Logic and Expression I Revised(東京書籍)
補助教材(発行者)	NEW FAVORITE English Logic and Expression I 学習書(NHK出版)

科目の目標	英語学習の特質を踏まえ、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域の指導を通して、以下に示す資質・能力を一体的に育成する。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
後期	第1回	英語で表現するには Unit1 Lesson1, 2	第1・2回	後期
	第2回	Unit1 Lesson3, 4, 5, 6	第3・4回	
	第3回	Unit1 Lesson 7, 8, 9, 10	第5・6回	
	第4回	Unit1 Lesson11, 12 Unit2 Intensive Lesson1, 2	第7・8回	
	第5回	Unit2 Intensive Lesson3, 4, 5	第9・10回	
	第6回	Unit2 Intensive Lesson6, 7, 8 まとめ	第11～14回	